

# としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2019年7月 第218号

Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

## \*\* 図書館カレンダー \*\*

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺  
愛東

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

7月26日（金）

永源寺図書館……開館

愛東図書館……休館

湖東

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

## \*\* イベント・映画上映会 \*\*

### 〈湖東図書館〉

- 『オズの魔法使』（101分/洋画・字幕）  
7月13日（土）14:00～15:45
- 『ビルマの豎琴』（134分/邦画）  
8月10日（土）14:00～16:05

### 〈永源寺図書館〉

- 『マルサの女』（127分/邦画）  
7月20日（土）14:00～16:10
- 『イーजीライダー』（95分/洋画・字幕）  
8月17日（土）14:00～15:40

## 各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時～18時  
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050  
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時～17時  
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時～18時  
（木曜日のみ20時まで）  
tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300  
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



# あたらしくはいった本 (永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します)

## くらし・健康

はい！こちら子ども記者相談室デス！

白洲正子と歩く琵琶湖 江北編

ポイント&スマホ決済&電子マネー完全攻略ガイド

がん免疫療法とは何か

100歳まで自分の歯を残す4つの方法 改訂新版

「保険でお金を増やす」はリスクがいっぱい

かめおか子ども新聞／著

新潮社

大沼 芳幸／著

天津:海青社

クレナビ管理人／著

技術評論社

本庶 佑／著

岩波書店

齋藤 博／著

講談社

岩城 みずほ／著

日本経済新聞出版社

### 『農家ごはんとう野菜レシピ』 枝元なほみ/著 家の光協会

畑でとれた野菜は、市場に出され、スーパーへ運ばれ、パッキングされて消費者の手元に届きます。でも、どんな野菜も植物。土と水とおひさまの光で育っています(最近の水耕野菜もおいしく便利ですが……)。全国各地の農家とその畑を料理研究家がまわって、育てるコツや工夫、おいしく食べられるおすすめレシピを聞き取り。さらに、料理研究家ならではのアイデアで、野菜のすみずみまで活用する新たな調理法を提案します。たとえばブロッコリーだったら、産地からは「ブロッコリー餅」、枝元さんからは茎の皮の部分まで使った「ブロッコリーのつくだ煮」。産地直送の写真とレシピが魅力的で、今すぐ台所に立ちたくなります。



家事のワンオペ脱出術

みんなのカットソー(CUT&SEW)

PAPER CRAFT大きな花と小さな花と

おいしいごはんの勘どころ

さっぱり&スパイシー夏めし100

伊藤まさこの器えらび

エコクラフトの雑貨春夏秋冬

佐光 紀子／著

エクスナレッジ

かたやま ゆうこ／著

ブティック社

文化出版局／編

文化出版局

野崎 洋光／著

学研プラス

高橋 雅子／著

池田書店

伊藤 まさこ／著

PHPエディターズ・グループ

荒関 まゆみ／著

朝日新聞出版

## 社会・教育・福祉

楊貴妃

人類の起源、宗教の誕生

朝鮮通信使と彦根

私たちの国で起きていること

官邸官僚

ふるさと創生

村山 吉廣／著

講談社

山極 寿一／著

平凡社

野田 浩子／著

サンライズ出版

小熊 英二／著

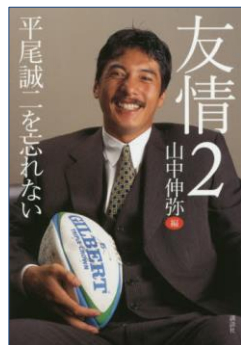
朝日新聞出版

森 功／著

文藝春秋

黒井 克行／著

木楽舎



### 『友情 2 平尾誠二を忘れない』 山中伸弥/編 講談社

「ミスターラグビー」と言われた不世出のラグーマン、平尾誠二氏は2016年に癌のため53歳でこの世を去りました。「いまも聞こえる君の声に励まされ、勇気もらって、僕はこうして生きている」……雑誌の対談をきっかけに平尾氏と深い友情で結ばれ、過酷な闘病生活を支えた京都大学IPS研究所所長・山中伸弥氏の言葉です。山中氏をはじめとする友・師・後輩、そして家族が、平尾氏と過ごした人生の宝物のような日々を振り返り、心の中に生き続ける姿を綴ります。 \*『友情 1 平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」』も、あわせてお読みください。

「空気」を読んでも従わない

35歳、働き女子よ城を持て！

ストーカーとの七〇〇日戦争

鴻上 尚史／著

岩波書店

高殿 円／著

KADOKAWA

内澤 旬子／著

文藝春秋

虐待された少年はなぜ、事件を起こしたのか	石井 光太／著	平凡社
ケアするまちのデザイン	山崎 亮／著	医学書院
引ける！わかる！高齢者の急変時対応	遠矢 純一郎／著	技術評論社
民生委員のための障害者支援ハンドブック	小林 雅彦／著	中央法規出版
庭に小さなカフェをつくったら、みんなの居場所になった。	南雲 明彦／編著	ぶどう社
子供と保護者とクラスをつなぐ！学級通信の編集スキル&テンプレート	中山 大嘉俊／編著	明治図書出版
「%」が分からない大学生	芳沢 光雄／著	光文社
いちばんやさしい量子コンピューターの教本	湊 雄一郎／著	インプレス
たたら製鉄の歴史	角田 徳幸／著	吉川弘文館

## 自然・ビジネス・産業

世にも美しき数学者たちの日常	二宮 敦人／著	幻冬舎
クリエイターのための超速地図デザイン術	原田 鎮郎／著	技術評論社
フィールド図鑑日本のウミウシ	中野 理枝／著	文一総合出版
図解巣箱のつくり方かけ方	飯田 知彦／著	創森社

### 『大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実』 仲村和代・藤田さつき／著 光文社



「たくさん作って、たくさん買って、たくさん捨てる」という大量消費が当たり前となっている現代社会。「捨てることになっても、たくさん作った方がもうかる」というアパレル業界と、恵方巻などの季節商品が大量に廃棄されている食品業界、それぞれの現状とその理由について朝日新聞の記者たちが取材しています。「ものを無駄に捨ててしまうのは、これがどこから来たのか、ということに対するイマジネーションが欠如しているからだと思います」と、ある料理人は語ります。目の前の品物がどのように作られて手元に届いているのか、私たち消費者が知るからこそ、この問題を解決する第一歩なのかもしれません。

地銀波乱	日本経済新聞社／編	日本経済新聞出版社
植物を活用した地域づくり	林 まゆみ／編	神戸新聞総合出版センター
草取りにワザあり！	西尾 剛／著	誠文堂新光社
今さら聞けない農薬の話きほんのき		農山漁村文化協会
〈レンタルなんもしない人〉というサービスをはじめます。	レンタルなんもしない人／著	河出書房新社
最新ネット広告の基本と仕組みがすべてわかる本	佐藤 和明／著	秀和システム

## 芸術・趣味

にっぽん文鳥絵巻	ポンプラボ／編	カンゼン
アルプスの画家セガンティーニ	久保 州子／著	論創社

### 『英国キュー王立植物園 庭園と植物画の旅』 平凡社

ロンドンの郊外に132ha(東京ドームの28倍!)もの敷地を有するキュー王立植物園。敷地全体がユネスコの世界遺産でもあります。ここにある膨大な植物のコレクションは、大英帝国による植民地支配と切っても切れない関係にあります。260年にわたって収集された知の蓄積を、この美しい植物園が体現しているのを見ると、イギリス人の、世界の植物に対するあくなき探究心が伝わってきて、気が遠くなりそうです。色鮮やかな植物画コレクションも必見。



見て・買って楽しむ麗しの酒器		阿部出版
世界のインディゴ染め	カトリーヌ・ルグラン／著	パイ・インターナショナル

美空ひばり恋し  
琵琶湖岸釣りMAP南湖 完全保存版  
知れば知るほど行司・呼出し・床山

関口 範子／著  
相撲編集部／編著

主婦と生活社  
つり人社  
ベースボール・マガジン社

## ことば・文学・小説

ちよい足しで丁寧に！英語のクッションことば  
ティータイムのロシア語  
母のうた  
万葉の心

デイビッド・セイン／著 ジャパンタイムズ  
土岐 康子／(他)著 白水社  
田中 章義／著 徳間書店  
中西 進／著 毎日新聞出版

### 『芥川賞ぜんぶ読む』 菊池良／著 宝島社

日本でもっとも有名な文学新人賞、芥川賞。84年の歴史があり、年2回の選考で、これまで180作品が選ばれています。その受賞作、作家はニュースでも取り上げられ、注目を浴びます。しかし、それらの作品すべてを読んだ人はあまりいないのではないのでしょうか。著者は約1年かけて、すべてを読み、網羅的なガイドブックとしてこの本を書きました。受賞作を振り返り、当時の自分が何をしていたかを重ね合わせて読むと、意外な発見があるかも？ イッキ読みで、日本の時代と文化が見えてきます。



『マチのお気楽料理教室』元ツアコンの万智。旅先で学んだ郷土料理のレシピを伝えます  
『鬼を待つ』江戸の巷にうごめく人々の表と裏。人生の哀しみを描く弥勒シリーズ、第9弾  
『シーソーモンスター』昭和でも近未来でも、家庭と世界の平和を守る！男たちの奔走  
『ぼくらのセイキマツ』ノストラダムスによると、来年世界が滅亡する。でもその前に受験！  
『アロワナを愛した容疑者 警視庁いきもの係』シリーズ第5弾は福家警部補も登場  
『百花』母は息子を忘れ、息子は母との思い出を蘇らせる。かつて親子に起こった事件とは  
『アタラクシア』夫の浮気、息子の反抗。ままならない結婚生活にもがく男女を熱く描く  
『今昔百鬼拾遺 鬼』先祖代々、片倉の女は殺される。その辻斬りは怪異か、人為か  
『隠居すごろく』還暦を迎えて堂々隠居のはずが、孫が次々に厄介ごとを連れてきて……  
『十手長屋物語 2』艶やかな訪問者に見とれているうちに、嫁の持参金が盗まれてしまい  
『転生 越境捜査』消費者金融の会長は、入れ替わった元空き巢！？白骨死体の正体は  
『谷中びんづめカフエ竹善』謎の英国人男性が、野菜たちを保存食に。ほっこり人情物語  
『ひよこ太陽』女に出でいかれ、切り詰めてひたすら小説を書く。芥川賞作家の新境地  
『夜が暗いとはかぎらない』閉店の決まったちいさなマーケットの人々を描く連作短編  
『鉄警ガール』父に憧れて警察官を目指したけど、配属は鉄道警察隊。新宿駅は私が守る！  
『水辺のブツダ』絶望と希望が、死とエロスが、川辺できらめく。片隅の人々を照らす物語  
『一膳めし屋丸九』たまのごちそうより日々のめし。父の教えを守り、心をこめて作ります  
『夢見る帝国図書館』本がわれらを自由にする。この国初の「図書館」ができたころのお話  
『暁天の星』不平等条約に挑んだ陸奥宗光。著者が最期に挑んだ「近代」の物語。未完の大作  
『美しき愚かものたちのタブロー』日本の若者に本物を。国立西洋美術館の誕生秘話  
『旅は道づれ きりぎり舞い』舞のまわりは相変わらず奇人変人だらけ。シリーズ第3弾  
『つみびと』灼熱の夏、母親はなぜ幼子を置き去りにしたのか。虐げられる者たちの心理  
『マジカルグランマ』理想のおばあちゃんとして再ブレイクした女優。でもその実情は……  
『孤独という道づれ』もの忘れも骨折もアポ電も、おどけとはったりで描ききるエッセイ集  
『父権制の崩壊あるいは指導者はもう来ない』当たり前で通用しない世界が来ている  
『僕が神さまと過ごした日々』不思議な邂逅、かけがえのない時。ゾーヴァの絵とともに

秋川 滝美／著 講談社  
あさの あつこ／著 光文社  
伊坂 幸太郎／著 中央公論新社  
伊藤 たかみ／著 理論社  
大倉 崇裕／著 講談社  
川村 元気／著 文藝春秋  
金原 ひとみ／著 集英社  
京極 夏彦／著 講談社  
西條 奈加／著 KADOKAWA  
坂岡 真／著 角川春樹事務所  
笹本 稜平／著 双葉社  
竹岡 葉月／著 集英社  
田中 慎弥／著 新潮社  
寺地 はるな／著 ポプラ社  
豊田 巧／著 KADOKAWA  
ドリアン助川／著 小学館  
中島 久枝／著 角川春樹事務所  
中島 京子／著 文藝春秋  
葉室 麟／著 PHP研究所  
原田 マハ／著 文藝春秋  
諸田 玲子／著 光文社  
山田 詠美／著 中央公論新社  
柚木 麻子／著 朝日新聞出版  
岸 恵子／著 幻冬舎  
橋本 治／著 朝日新聞出版  
アクセル・ハッケ／著 講談社

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。